

スーパーマーケット販売統計調査資料

2014年7月実績 速報版・6月実績 確報版(パネル285)

2014年上半期集計(1月～6月) 確報版

(2014年8月21日公表)

調査資料概要

【パネル285】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象として同一285社を集計

※2014年4月実績よりパネル対象企業変更(306社→285社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

2014年8月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年7月実績 速報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	82,290,828	100.0%	102.3%	100.2%
食品合計	72,265,007	87.8%	103.1%	100.7%
生鮮3部門合計	26,554,935	32.3%	105.4%	102.9%
青果	10,507,904	12.8%	101.5%	99.3%
水産	7,504,662	9.1%	104.9%	102.5%
畜産	8,542,369	10.4%	111.1%	108.1%
惣菜	7,773,348	9.4%	105.2%	102.1%
日配	15,870,704	19.3%	102.7%	100.5%
一般食品	22,066,020	26.8%	99.9%	97.9%
非食品	6,840,725	8.3%	96.7%	96.1%
その他	3,185,096	3.9%	95.9%	95.8%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,034,646	48	102.0%	99.2%
関東地方	29,644,495	73	104.3%	102.0%
中部地方	9,948,763	57	102.3%	101.3%
近畿地方	17,735,902	43	100.4%	98.1%
中国・四国地方	7,398,145	39	99.5%	97.7%
九州・沖縄地方	4,528,876	25	102.2%	101.5%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	858,714	53	99.4%	100.7%
4~10店舗	3,963,688	77	101.5%	100.5%
11~25店舗	10,864,922	71	100.2%	99.7%
26~50店舗	16,150,660	46	101.8%	100.2%
51店舗以上	50,452,845	38	102.9%	100.2%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	79,015,214	
総店舗数 (店舗)	7,336	店舗平均月商 (万円)	11,217	
総売場面積 (㎡)	11,986,182	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.9	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年8月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年6月実績 確報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	80,890,824	100.0%	102.3%	100.4%
食品合計	71,008,013	87.8%	103.3%	101.2%
生鮮3部門合計	26,424,009	32.7%	106.7%	104.4%
青果	10,781,022	13.3%	105.6%	103.5%
水産	7,038,128	8.7%	104.0%	101.8%
畜産	8,604,858	10.6%	110.4%	107.8%
惣菜	7,466,308	9.2%	106.0%	103.0%
日配	15,682,934	19.4%	102.9%	100.9%
一般食品	21,434,762	26.5%	98.8%	97.1%
非食品	6,944,936	8.6%	94.3%	94.1%
その他	2,937,875	3.6%	96.0%	95.5%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,813,908	48	101.8%	98.8%
関東地方	28,905,579	73	104.4%	102.6%
中部地方	9,838,589	57	101.8%	100.2%
近畿地方	17,774,348	43	101.2%	99.1%
中国・四国地方	7,208,658	39	98.8%	98.3%
九州・沖縄地方	4,349,742	25	100.6%	100.0%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	786,291	52	98.3%	99.5%
4~10店舗	3,949,004	78	103.1%	102.2%
11~25店舗	10,923,369	72	100.8%	99.7%
26~50店舗	15,601,948	45	101.2%	99.3%
51店舗以上	49,630,211	38	102.9%	100.7%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	77,752,553	
総店舗数 (店舗)	7,327	店舗平均月商 (万円)	11,040	
総売場面積 (㎡)	11,987,610	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年8月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年上半期集計（2014年1月～6月） 確報版

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	477,682,550	100.0%	103.6%	101.1%
食品合計	422,073,745	88.4%	104.1%	101.5%
生鮮3部門合計	159,932,378	33.5%	106.2%	103.5%
青果	64,751,358	13.6%	105.7%	103.0%
水産	43,420,711	9.1%	103.4%	100.9%
畜産	51,760,308	10.8%	109.5%	106.5%
惣菜	44,109,800	9.2%	105.4%	102.2%
日配	90,738,477	19.0%	103.8%	101.2%
一般食品	127,293,090	26.6%	101.4%	99.0%
非食品	39,645,218	8.3%	99.4%	99.0%
その他	15,963,587	3.3%	98.5%	98.1%

エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北地方	77,100,556	48	103.0%	100.4%
関東地方	168,544,098	73	106.1%	102.7%
中部地方	105,444,415	43	101.8%	99.7%
近畿地方	57,778,078	56	102.4%	100.4%
中国・四国地方	43,152,035	38	101.5%	101.0%
九州・沖縄地方	25,663,368	25	102.2%	101.5%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	4,632,637	50	100.1%	99.3%
4～10店舗	23,184,211	78	102.2%	102.1%
11～25店舗	63,491,639	71	100.7%	100.3%
26～50店舗	92,925,047	46	102.7%	100.7%
51店舗以上	293,449,016	38	104.6%	101.4%

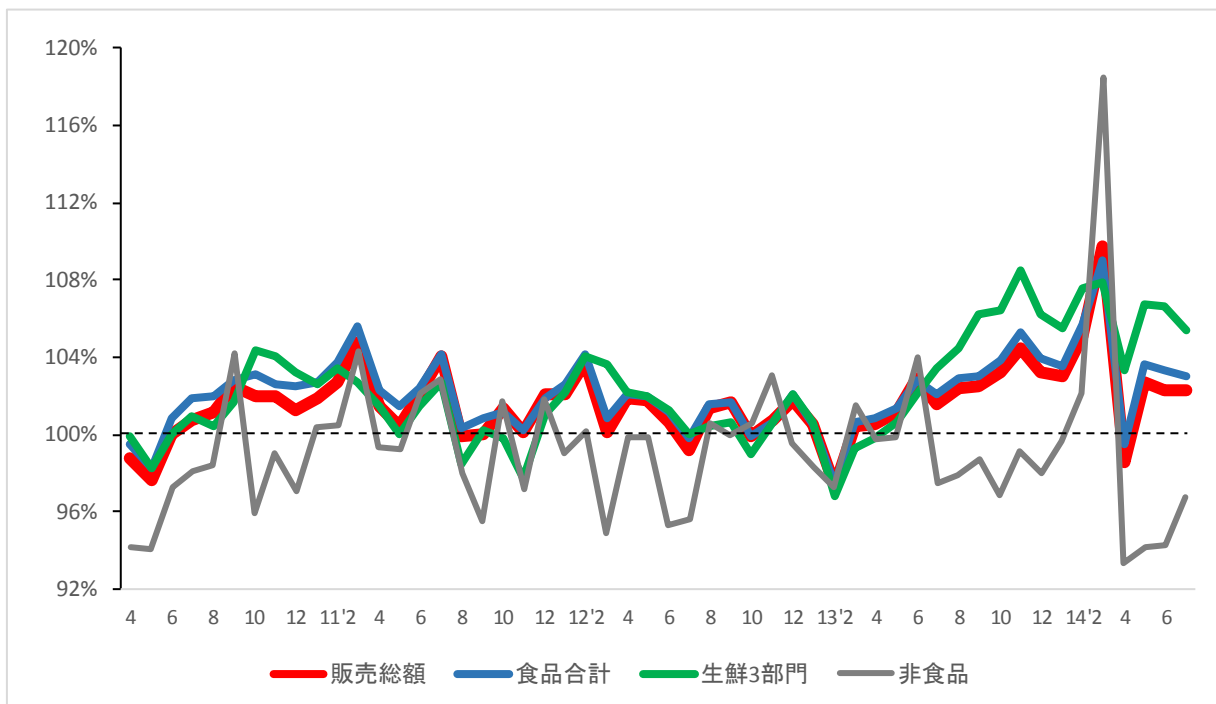
※保有店舗数カテゴリーは2014年1月時点での保有店舗数による分類

集計企業数（社）	283	既存店総売上高（万円）	456,581,798
		店舗平均月商（万円）	10,909
		売場1㎡あたり売上高（万円）	6.6

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年7月(全店ベース対前年同月比)

販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品

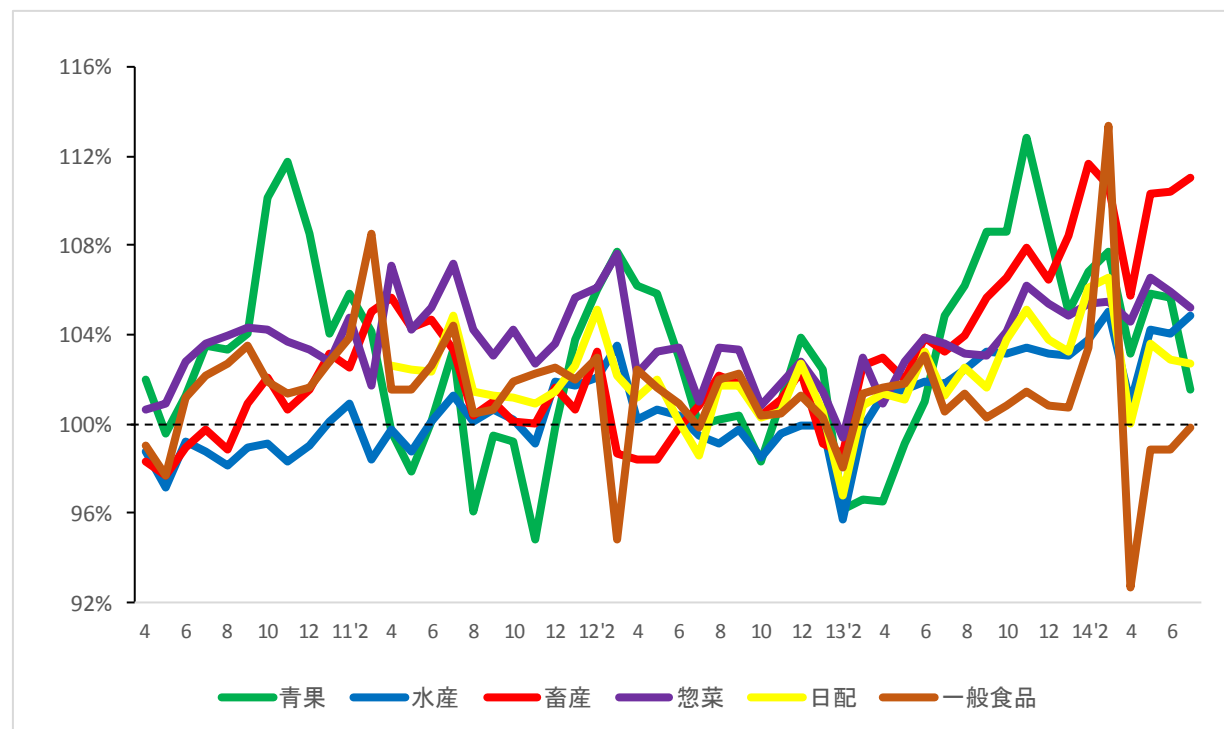


※2010年4月～2014年6月までは確報版による前年同月比、2014年7月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年7月(全店ベース対前年同月比)

青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2014年6月までは確報版による前年同月比、2014年7月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

2014年7月エリア別気候状況

①平均気温

2014年7月(平年との比較)

上旬・中旬は東日本で高く、下旬にかけて全国的にやや高い気温となった

前年同月(2013年7月)と比較

上旬は全国的に前年よりかなり低く、中旬以降は東日本で高く、西日本は低い気温となった

	平年との比較(°C)								
	2014年7月			2013年7月(前年)			今年と前年との差(°C)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	1.2	2.5	1.8	3.9	1.4	0.6	-2.7	1.1	1.2
東北地方	1.3	1.2	1.5	2.7	-0.3	-1.2	-1.4	1.5	2.7
関東甲信地方	0.1	0.9	1.3	2.1	1.5	-0.2	-2.0	-0.6	1.5
北陸地方	1.1	0.3	0.7	3.3	1.3	0.0	-2.2	-1.0	0.7
東海地方	-0.2	0.7	1.0	1.7	1.6	0.5	-1.9	-0.9	0.5
近畿地方	-0.1	0.6	1.0	1.9	1.2	0.6	-2.0	-0.6	0.4
中国地方	-0.1	0.0	1.0	2.5	2.0	1.1	-2.6	-2.0	-0.1
四国地方	-0.6	0.1	0.8	1.3	1.7	1.2	-1.9	-1.6	-0.4
九州北部	-0.8	-0.7	0.7	1.9	2.0	1.5	-2.7	-2.7	-0.8
九州南部・奄美地方	-0.8	-0.5	0.7	1.2	0.9	1.3	-2.0	-1.4	-0.6

平年差



前年差



②日照時間

2014年7月(平年との比較)

上旬は西日本でやや短く、下旬は全国的にやや長い日照時間となった

前年同月(2013年7月)と比較

上旬・中旬は全国的に前年に比べかなり短く、下旬は東日本を中心に長い日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2014年7月			2013年7月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	94	150	152	119	165	79	-25	-15	73
東北地方	126	98	145	84	91	32	42	7	113
関東甲信地方	89	112	150	126	152	73	-37	-40	77
北陸地方	122	101	132	119	128	68	3	-27	64
東海地方	78	126	138	139	144	85	-61	-18	53
近畿地方	64	122	132	137	152	85	-73	-30	47
中国地方	61	103	131	123	169	93	-62	-66	38
四国地方	56	106	122	117	162	98	-61	-56	24
九州北部	47	77	113	103	188	81	-56	-111	32
九州南部・奄美地方	50	97	115	120	159	101	-70	-62	14

平年差



前年差



③降水量

2014年7月(平年との比較)

上旬は西日本を中心にかなり多い地域があり、中旬以降は北海道を除き全国的に少ない降水量となった

前年同月(2013年7月)と比較

上旬は前年より多い地域が多く、下旬は九州南部と北海道を除き、全国的にかなり少ない地域が多くなった

	降水量 平年比(%)								
	2014年7月			2013年7月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	76	24	164	114	3	122	-38	21	42
東北地方	137	82	41	131	208	214	6	-126	-173
関東甲信地方	110	77	25	34	38	112	76	39	-87
北陸地方	141	98	45	122	78	413	19	20	-368
東海地方	132	44	6	41	24	99	91	20	-93
近畿地方	113	43	5	64	32	71	49	11	-66
中国地方	120	72	6	112	42	109	8	30	-103
四国地方	170	19	28	84	19	34	86	0	-6
九州北部	207	68	22	90	5	55	117	63	-33
九州南部・奄美地方	233	30	88	21	4	5	212	26	83

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2014年8月調査結果(7月実績)

(8月21日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断は小幅に悪化、改善にやや頭打ち傾向も

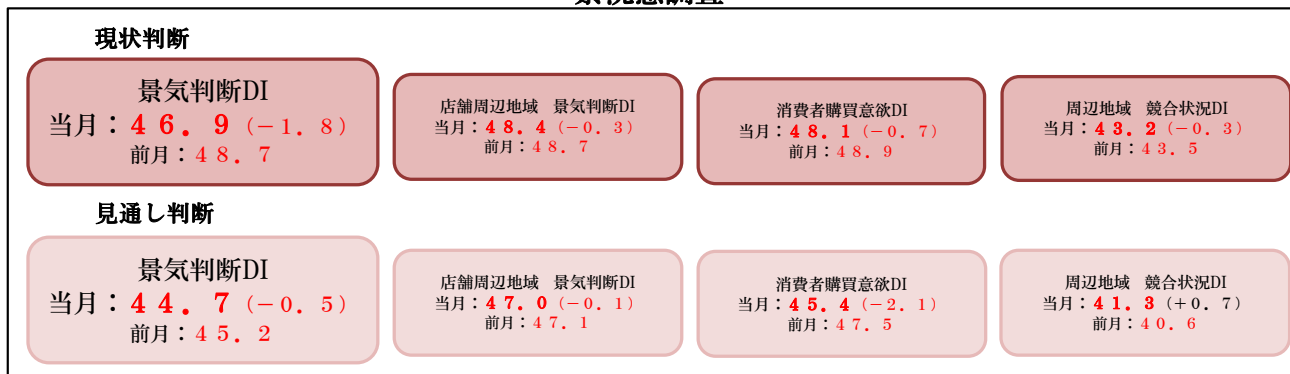
7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は46.9と前月から-1.8と小幅に悪化する結果となった。いずれのDIも前月から大きな変化はないものの、すべてのDIで見通し判断が現状判断を下回る結果となっている。

経営動向調査も前月から大きな変化をみせていない。売上高DIが-0.7（前月比+0.6）とわずかに改善したものの、収益DIは2.8（前月比-0.4）とわずかに下降している。他のDIも小幅ない動きにとどまっているが、やや心配なのが来客数DIの動向であり、-12.8（前月比-1.4）と税率引き上げ以降の下落傾向が顕著になっている。

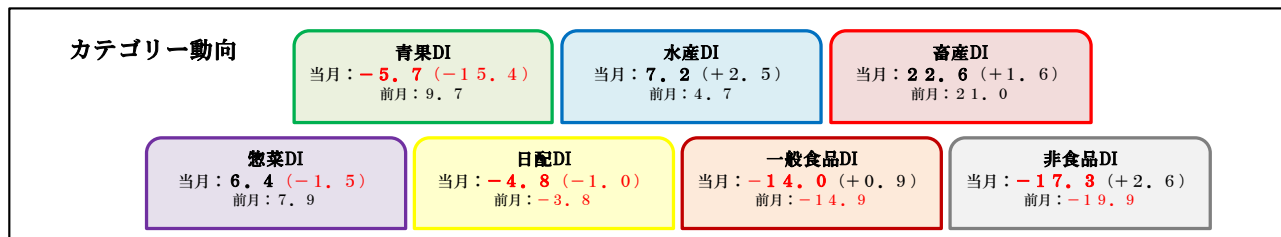
カテゴリー動向では、税率引き上げ以降生鮮三品（青果、水産、畜産）がプラス、一般食品や非食品でマイナスが続いている。なかでも相場高の追い風を受けている畜産はDIが22.6（前月比+1.6）と依然として大きくプラスを示しており引き続き好調である。一方で青果相場が安定し、前年と比べた相場安となったことの影響を受け、青果DIが-5.7（前月比-15.4）と大きく下落してマイナスとなった。一般食品や非食品は回復が弱く、他業態との競合も加わり大きな改善には至っていない。

駆け込み特需前の水準近くまで回復しつつあった景気判断DIが2ヵ月連続で横ばい推移となり、また見通し判断が弱含みになっているのは懸念材料といえる。

景況感調査



経営動向調査



() 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

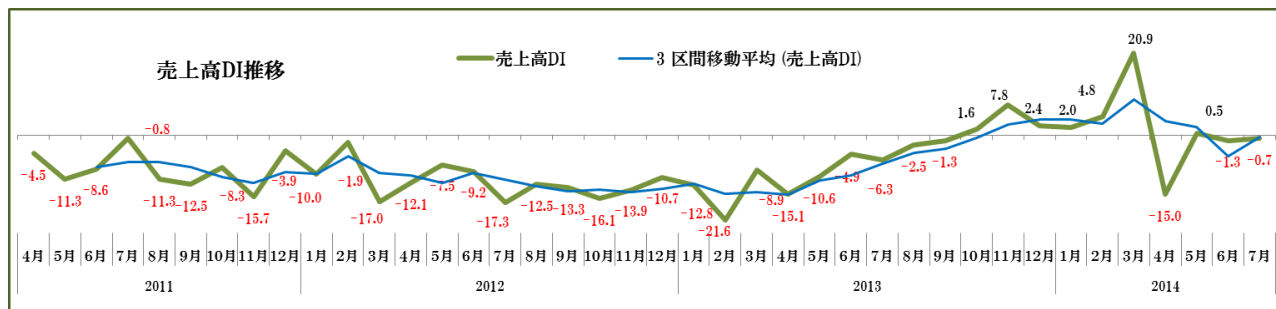
I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

①売上高 DI

消費税の影響は落ち着きをみせるも横ばいでの推移

売上高（前月）	7.7	28.9	26.4	34.9	2.1
売上高（当月）	7.6	30.0	23.3	35.7	3.3

■ かなり減少
 □ やや減少
 □ 変わらない
 □ やや増加
 ■ かなり増加

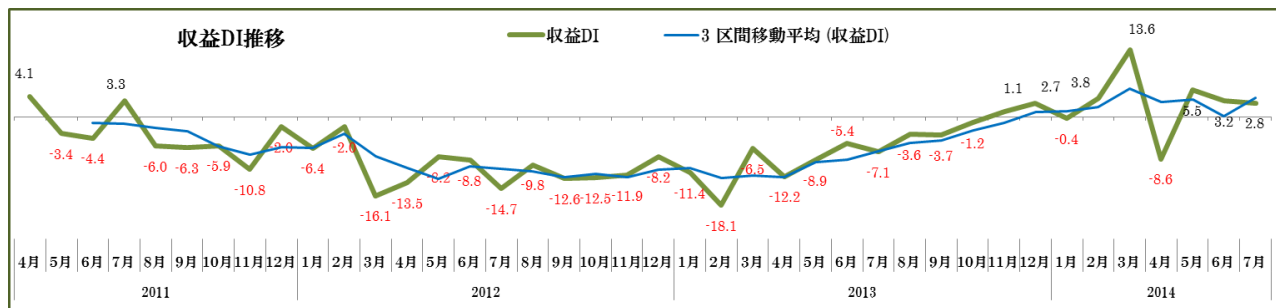


②収益 DI

プラス圏を維持するも小幅に下降傾向

収益（前月）	6.5	23.5	26.5	37.8	5.7
収益（当月）	6.7	23.1	29.3	34.1	6.7

■ かなり減少
 □ やや減少
 □ 変わらない
 □ やや増加
 ■ かなり増加

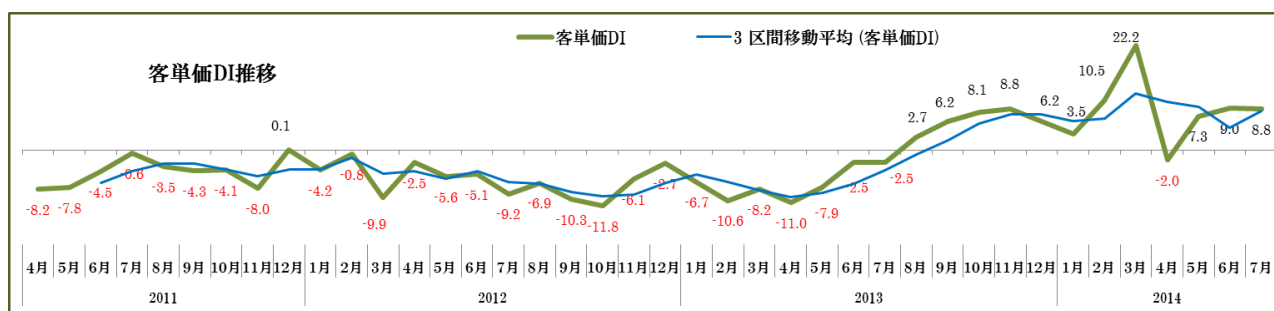


③客単価 DI

プラス圏で横ばい傾向

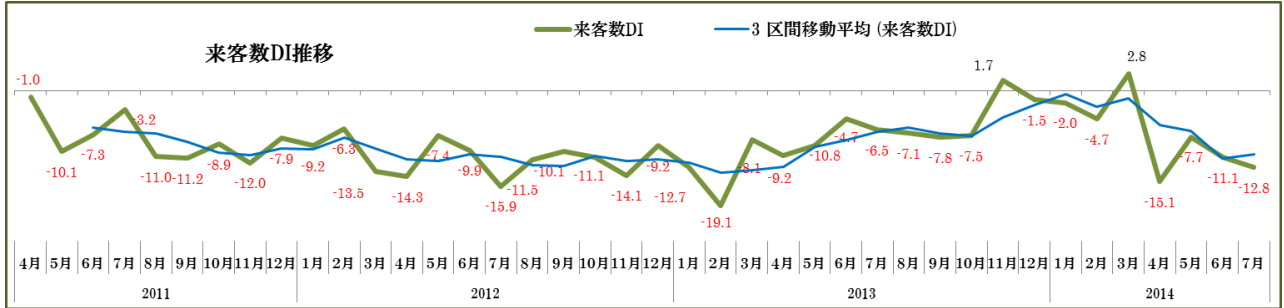
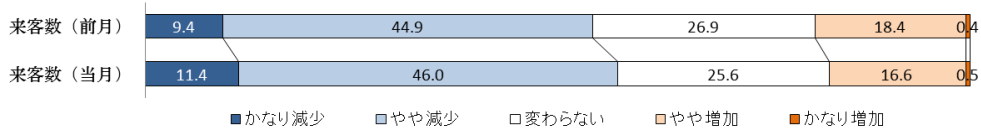
客単価（前月）	1.3	16.7	30.3	48.3	3.4
客単価（当月）	0.9	17.1	29.9	50.2	1.9

■ かなり減少
 □ やや減少
 □ 変わらない
 □ やや増加
 ■ かなり増加



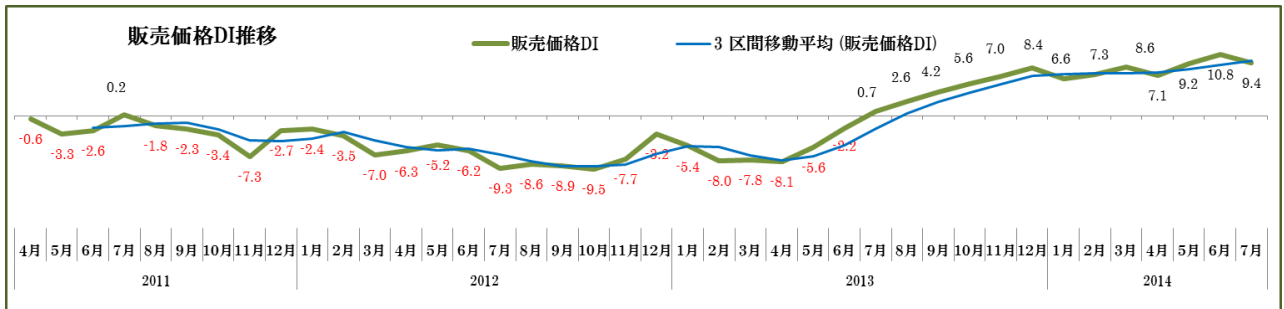
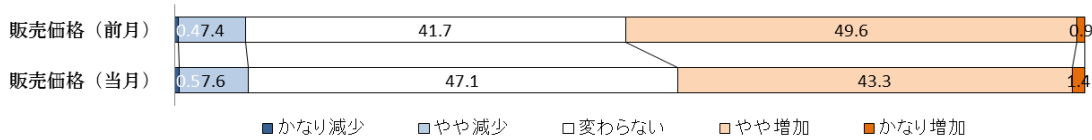
④来客数 DI

4月以降の下降傾向が顕著に



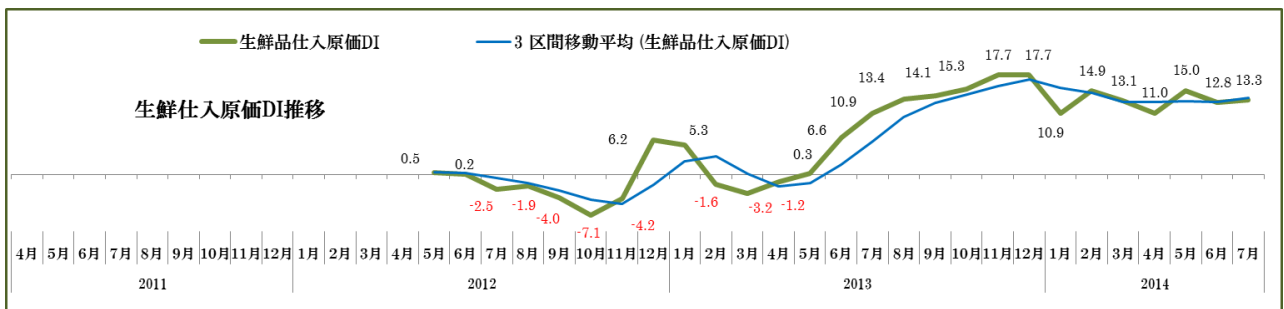
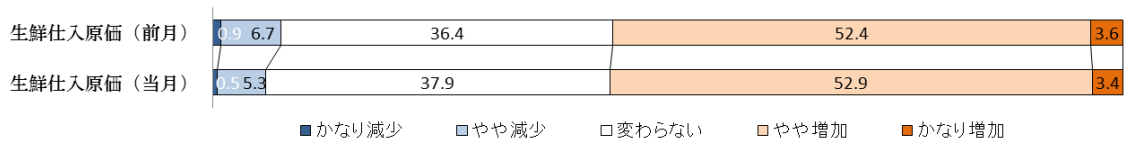
⑤販売価格 DI

引き続き高水準で横ばい傾向



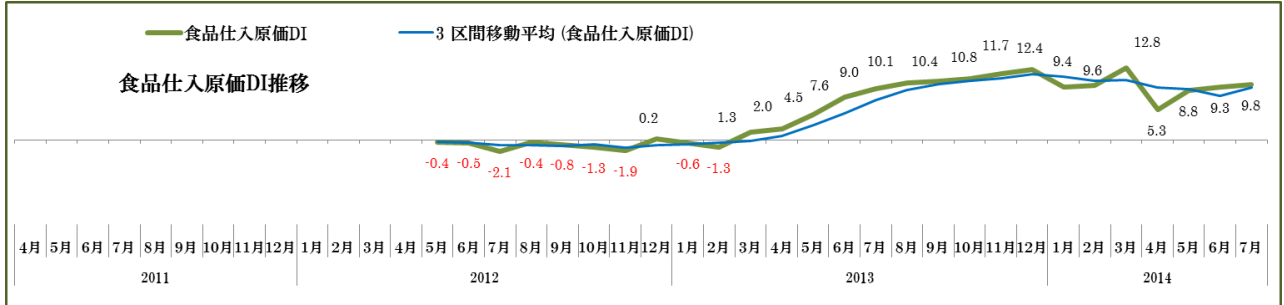
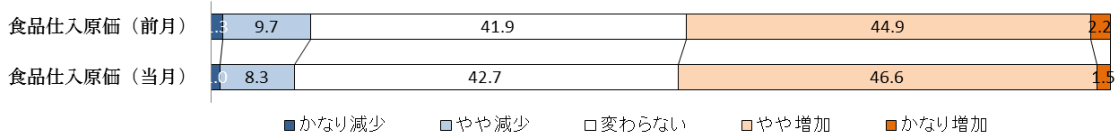
⑥生鮮仕入原価 DI

引き続き高水準で横ばい傾向



⑦食品仕入原価 DI

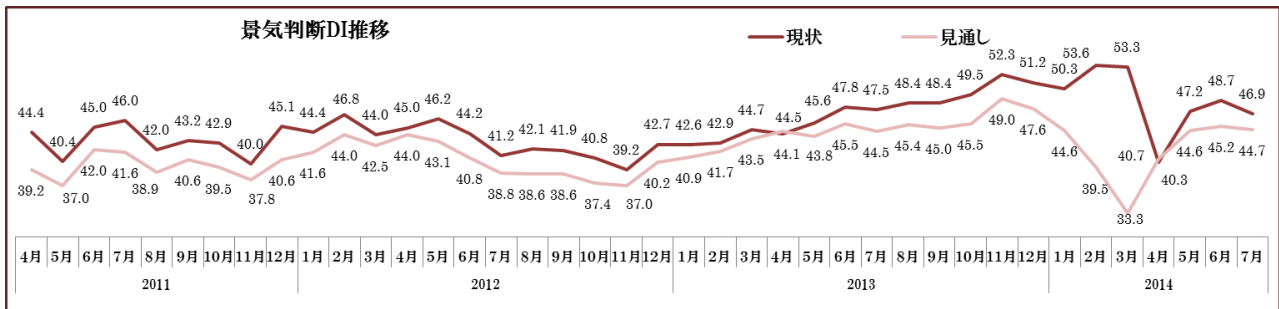
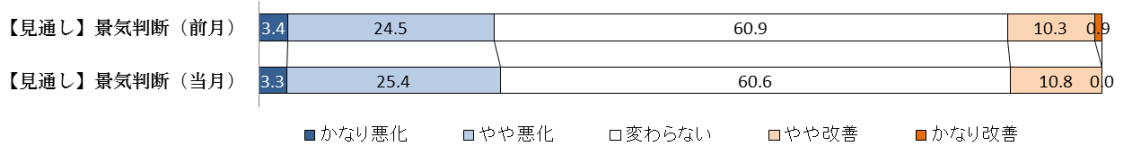
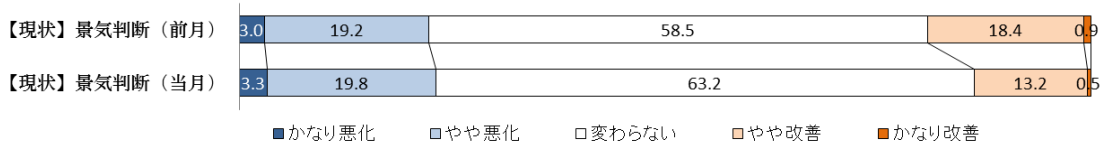
引き続き高水準で横ばい推移



2. 景況感調査

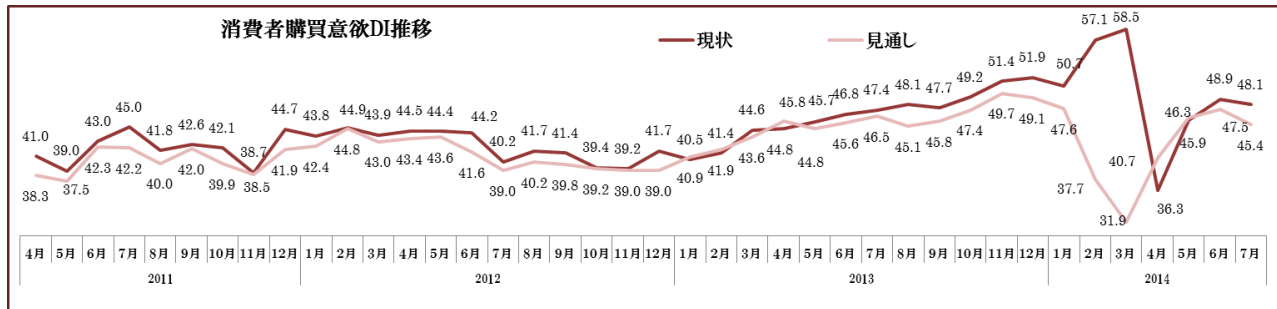
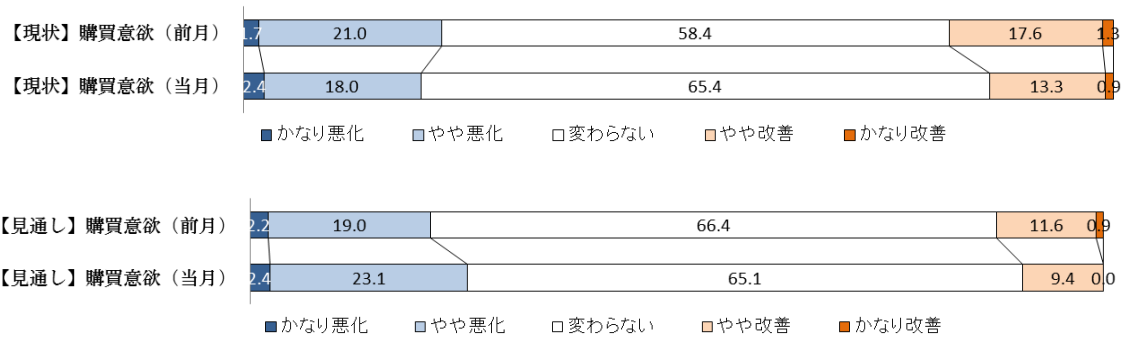
①景気判断 DI

現状判断の改善傾向には頭打ち感、見通し判断は横ばい推移



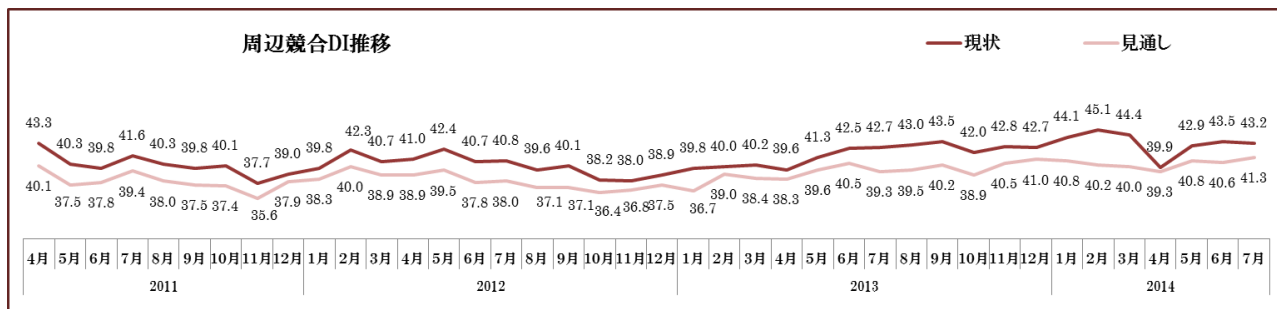
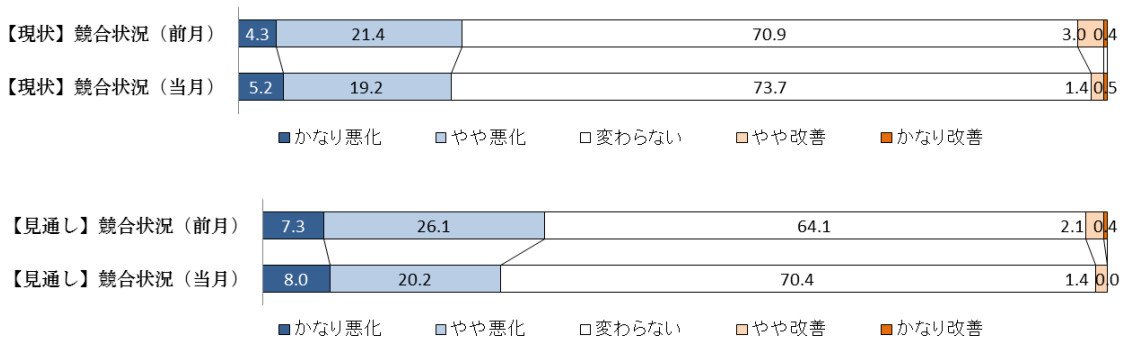
②消費者購買意欲 DI

現状判断の改善傾向には頭打ち感、見通し判断は横ばい推移



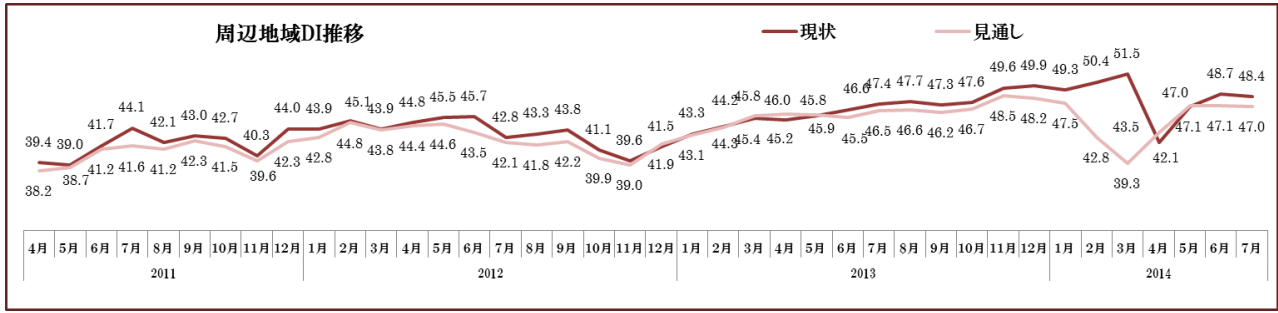
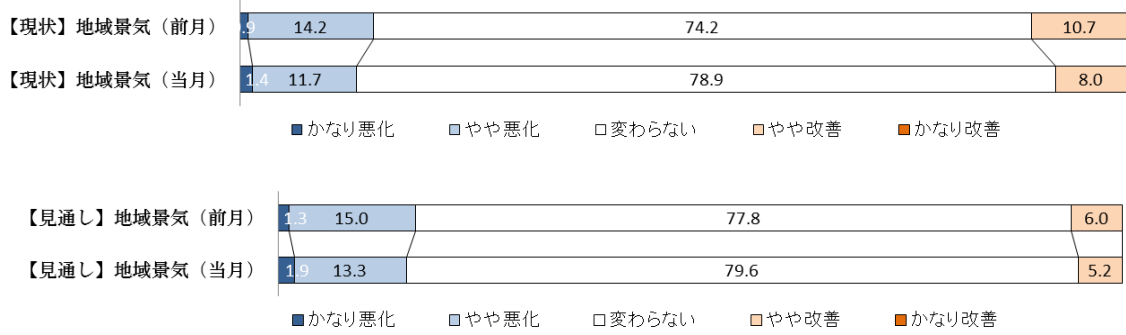
③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



④周辺地域景気判断 DI

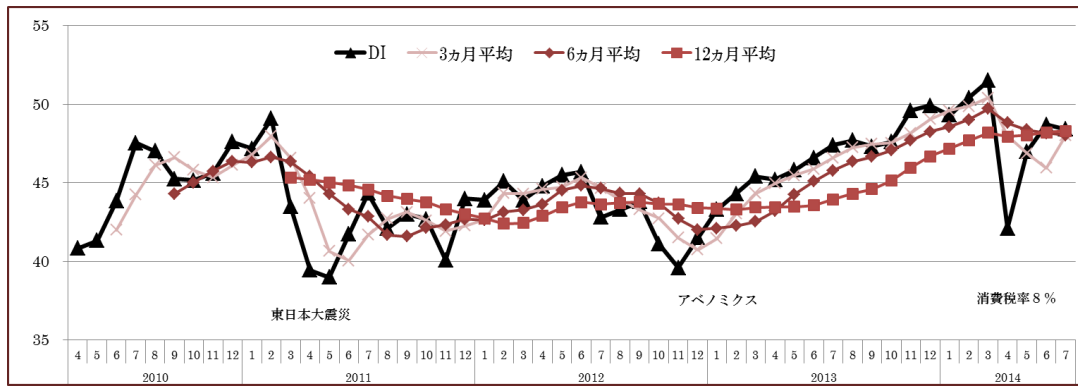
現状、見通し判断は共に横ばい傾向



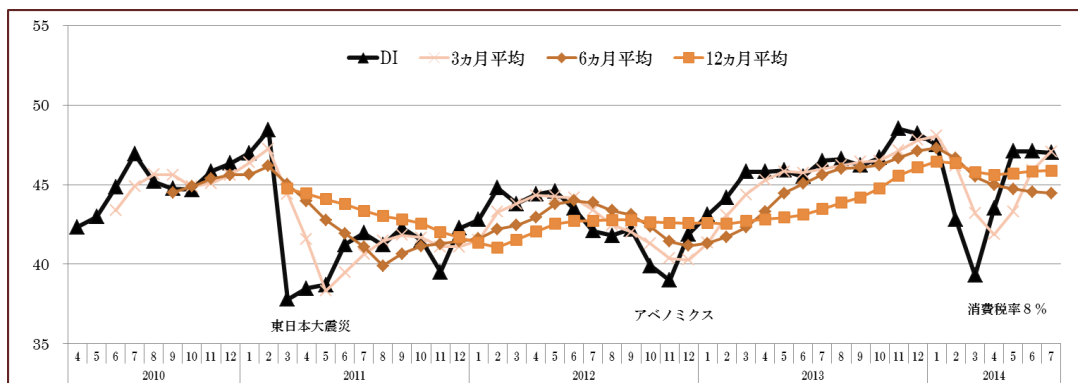
長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した現状判断は、中長期移動線付近まで改善をみせていたが、上昇に勢いがなくなり、やや頭打ち傾向がみられるようになっている。同様に見通し判断も、中長期平均線を上回る水準を維持しているものの、横ばい傾向が続いている。今後、消費税前の水準に回帰していく動きをみせるかどうか見極めるために重要な局面となっている。

現状判断（中長期傾向）



見通し判断（中長期傾向）



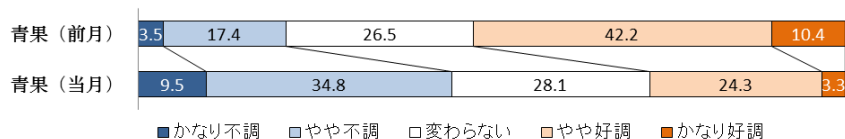
III. カテゴリー別動向

カテゴリー動向概要

税率引き上げ後のカテゴリー動向は、生鮮品と惣菜が好調、一方で一般食品と非食品を中心としたカテゴリーは不調という傾向が続いていたが今月は一部に変化がみられた。

好調な生鮮品のなかでも畜産は相場高にも支えられ引き続きかなり好調であった。水産は土用丑の日のうなぎが比較的好調でありやや好調となっている。それに対して青果は相場の落ち着きによりやや不調となった。惣菜は各社で取組みを強化しておりその成果によりやや好調であった。日配は気温や天候要因も影響しやや不調である。一般食品は駆け込みからの回復もみられるが、価格競争も厳しく引き続き不調、非食品はたばこを中心として駆け込みの反動が残り、また他業態との競合も厳しく不調となっている。

【青果】 やや不調 DI: -5.7 (前月 9.7)



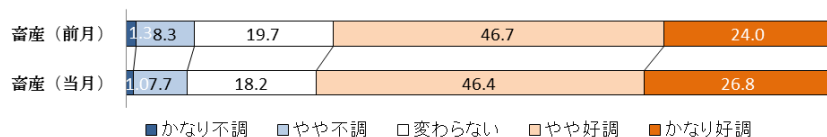
	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場安(安定)、季節果物(すいか、メロン)	野菜相場安、果物

【水産】 やや好調 DI: 7.2 (前月 4.7)



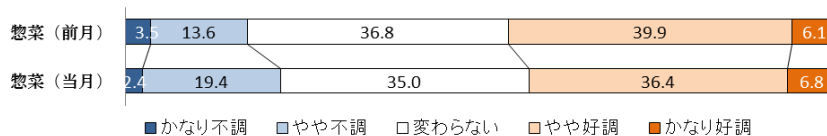
	好調コメント	不調コメント
水産	うなぎ(相場高)、(まぐろ)、(刺身)	中国産うなぎ、(塩干)

【畜産】 かなり好調 DI: 22.6 (前月 21.0)



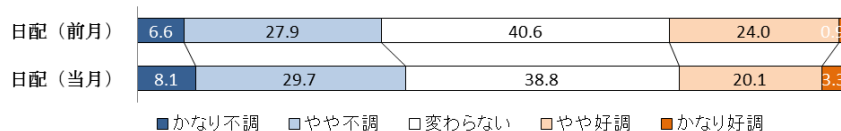
	好調コメント	不調コメント
畜産	豚肉相場高、国産牛肉(輸入)、国産鶏肉	

【惣菜】 やや好調 DI:6.4 (前月7.9)



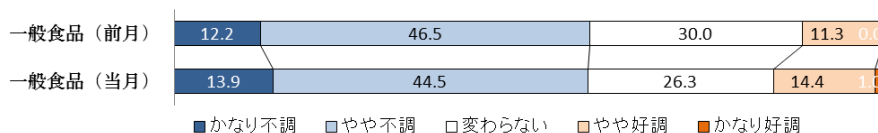
	好調コメント	不調コメント
惣菜	揚物類、	客数減少の影響

【日配】 やや不調 DI:-4.8 (前月-3.8)



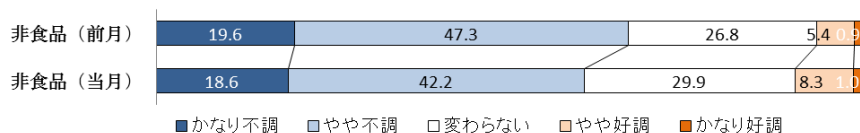
	好調コメント	不調コメント
日配	涼味関連(気温上昇)	乳飲料(ヨーグルト)、アイスクリーム(天候要因)

【一般食品】 不調 DI:-14.0 (前月-14.9)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	酒類、菓子、買いだめからの回復	米相場安、夏物商材(天候要因)、価格競争

【非食品】 不調 DI:-17.3 (前月-19.9)



	好調コメント	不調コメント
非食品	買いだめからの回復	買いだめの影響、価格競争、たばこ

() は少数コメント

DIによる好不調判断		
<u>かなり好調</u> :20 以上	<u>好調</u> :10~20	<u>やや好調</u> :0~10
<u>かなり不調</u> :-20 以下	<u>不調</u> :-20~-10	<u>やや不調</u> :-10~-0

2014年6月キーワード TOP3
1. 土用丑の日
2. 畜産相場高、青果相場安
3. 天候要因

スーパーマーケット景気動向調査
7月速報版集計 213社
6月確報版集計 235社